

経営比較分析表

青森県 六戸町

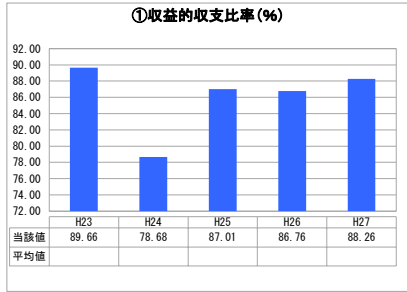
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	36.41	85.87
1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)			
2,376			

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,937	83.89	130.37
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,969	2.69	1,475.46

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



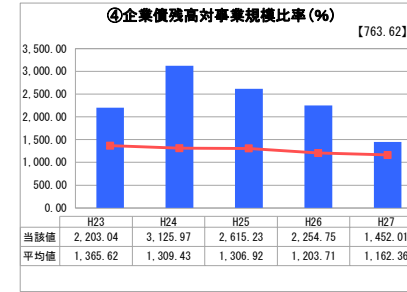
「単年度の収支」



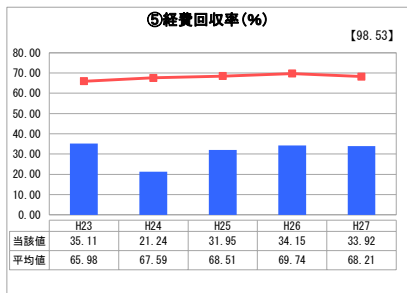
「累積欠損」



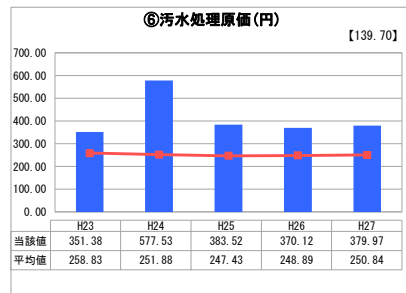
「支払能力」



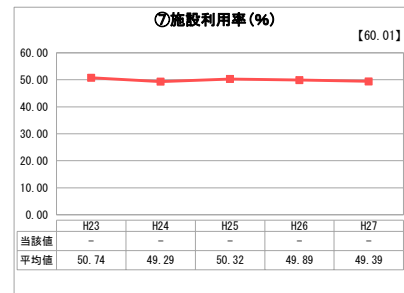
「債務残高」



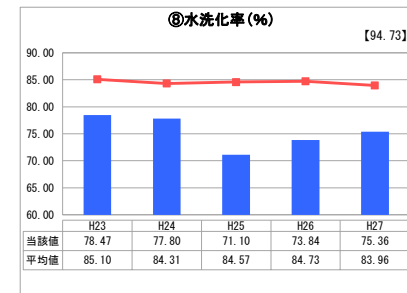
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

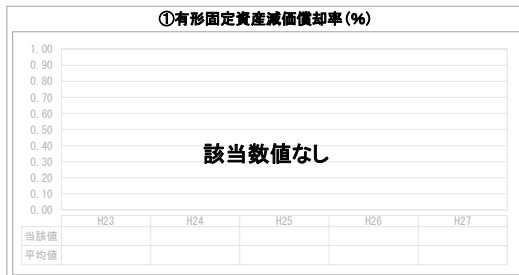


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

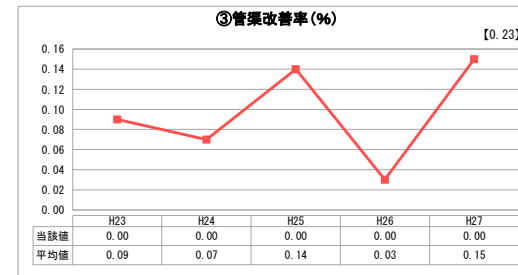
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・使用料金収入で、維持管理費を賄っていない状況であり、今後使用料の適正化(使用料料金の増額改定等)の検討を進めていくこととする。
 ・企業債(地方債)については、今後繰上げ償還や金利の安いものへの借換え等を検討する。

2. 老朽化の状況について

・今後、ストックマネジメント計画を策定し、順次更新事業の実施を検討していく。

全体総括

・使用料金収入で、維持管理費を賄っていない状況であり、また、今後施設・設備の更新も必要となってくることから、使用料の適正化(使用料料金の増額改定等)の検討を進めていくこととする。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。